

参加費
無料!

-あなたの隣の帰国者のこと知っていますか?-

「中国残留邦人等の体験と労苦を伝える 戦後世代の語り部」講話会



2024/2/10(土)
13:30-15:25(開場13:00~)

会場：首都圏中国帰国者
支援・交流センター
カーニープレイス新御徒町6階

東京都台東区東上野1-2-13

定員30名 事前申込制

申し込み締め切り： 2/8(木)

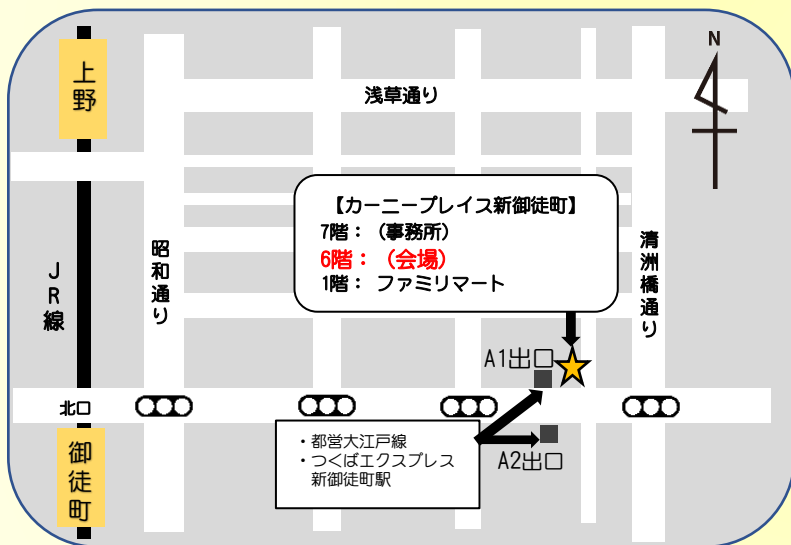
お申込みはwebで

←<https://forms.gle/DGamdwCWhWFK2VV66>



「語り部」とは

首都圏中国帰国者支援・交流センター（厚生労働省委託）が、中国・樺太残留邦人の体験を次世代に語り継ぐために育成した戦後世代の伝承者です。



地図QRコード

【残留孤児として中国社会を生き抜く】

〈語り部〉高野 好美

逃避行の中、目の前で家族を亡くした7歳の少年は、中国人に引き取られる。戦後も政治的激動が続く中国社会で、日本人である彼には独自の「生き抜く力」が必要だった。日本へ帰ってきた後もその力を発揮し、多くの困難に向き合った。

【家族を求めて～中国残留孤児「間瀬珠美」の人生から～】

〈語り部〉長久保 まり

置き去りにされていた日本人の赤ちゃんは、中国人に拾われ成長する。17歳の時、自分が日本人かもしれないことを知るが、その事実を養母に確かめることはできなかった。1991年、肉親探しのために来日するその時まで、自分が日本人だということを、家族にも打ち明けなかった。やっと帰ってきた日本という国は、帰国者の家族の目にどのように映ったのだろうか。

主催：首都圏中国帰国者支援・交流センター

◆お問い合わせ◆
電話：03-5807-3171(9:30-17:45, 月祝休館)
メール：kataribe@sien-center.or.jp